



七城中央支所営農課
山内 隆生

播種から田植えまでのポイントと育苗管理

まずは播種時期の見直しを!!

田植え予定日から逆算して播種時期を決定しましょう。

播種

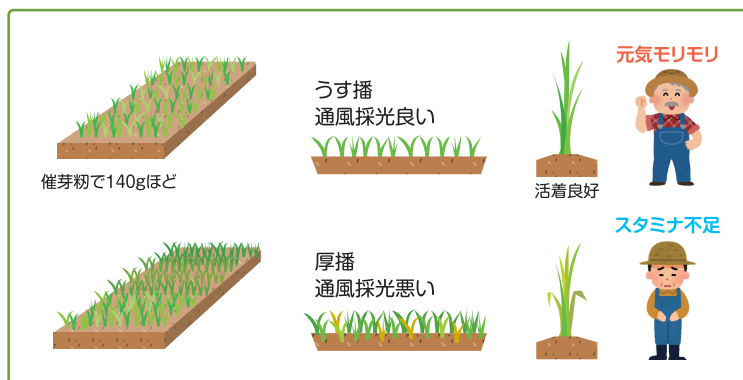
◆芽出し

芽出しは、水温が20～25℃なら3～4日程度（積算温度:100℃）浸種し、ハトムネ状態が適当です。



◆播種量

多い方が田植え時の欠株が少なくなるので、どうしても厚くまきがちですが、軟弱苗になりやすいので、一箱あたりの催芽粉で140g程度とし、厚まきは避けましょう!!



◆施肥 基肥一発施肥料

- ・施肥の目的は作物が必要とする養分を効率よく吸収させ、求める品質の農産物を安定的に生産することです。
- ・施肥から田植えまでの期間が長くなると、窒素肥効が生育前半にずれ込み、後半の窒素肥効が小さくなるため、施肥から田植えまでの期間は10日以内を心掛けましょう。

(注) 水稲用一発肥料には、プラスチックが使われていますので水田から流出させないように注意しましょう!!



被覆肥料の殻

◆田植え時期の目安

山間部:5月28日～6月10日ころ
平坦地:6月20日～6月30日ころ

・良質な活着を得るための植付け深さは2～3cmとされ、深植えは苗の長短に関わらず活着が劣ることから、適正な植付け深さで移植することが重要です。

育苗管理

育苗中の水管理は、播種後十分吸水させる必要があります。苗床は十分均平をとって苗箱を設置した後、直ちに入水して箱に十分吸水させ、その後は酸欠にならないように落水してください。

水管理は、出芽後根張りの良い健苗を育成するため、灌水は控えめにして加湿にならないように気を付けてください。

苗の生育量が足りない場合には、葉面散布での追肥を行ってください。

一箱当たり0.5ℓ散水

苗箱	水量	メリット青 (300倍)	混用	
			メリット赤	尿素
20箱	10ℓ	33cc	10cc	30g
50箱	25ℓ	83cc	25cc	75g
100箱	50ℓ	165cc	50cc	150g
150箱	75ℓ	248cc	75cc	225g
200箱	100ℓ	330cc	100cc	300g
250箱	125ℓ	413cc	125cc	375g
300箱	150ℓ	495cc	150cc	450g